

総務常任委員会
所管事務調査報告書

埼玉県川越市

「蔵造りの町並み」について

川越市は、埼玉県の中央部に位置し、面積一〇九平方キロで、人口三十三万人の東京の衛星都市。「小江戸」と呼ばれる川越は、城下町であると同時に、商人の町として栄えてきた。江戸中期に幕府の奨励で、耐火建築の蔵造り商家が建ち並び、これが現存している。

古い商家の素材を巧みに生かした店作りには、若い感性がよくマッチして、魅力ある町並みを形成している。町づくりの中心に、「蔵造り」という町並みを上手く活用している。

一角には、明治二十七年再建の高さ十六計もの鐘楼がそびえ立ち、今も時の鐘を響かせ、川越のシンボルとなっている。

路地には、昭和の雰囲気伝える菓子屋横丁が軒を連ね、川越特産のサツマイモを原料としたさつま芋菓子や地ビール、手作り飴などが、川越名産として人気を集めている。

宮之城町は、五年を費やした中心市街地活性化事業において、国の財政難等により区画整理事業を断念せざるを得ない状況になった今、ハードからソフト重視へ大きく発想の転換を図り、足元を見つめ直し、例えば川内川や竹など、本町の特徴や地域の素材を見直し、それらを多面的に活用した独自の町づくり、取組む必要があると思われる。



川越市の「蔵造りの町並み」

静岡県伊豆長岡町

「ISO6001」について

伊豆長岡町は、静岡県東部伊豆半島の玄関口に位置し、面積一七平方キロで、人口約一万五千人の観光と農業の町。当町は、業務のシステムに對

する国際規格で、「品質マネジメントシステム」と呼ばれている「ISO9001」を、平成十四年一月に取得した。この認証を取得するこ

とは、その組織のシステムが、国際的に認められたことを意味する。このシステムの主な特徴は、

- ① 住民サービスや窓口業務に対するアンケート調査を実施・分析し、継続的に改善を図る
 - ② 業務目標を設定し、結果を定期的に測定・評価・分析し、改善を繰り返す
 - ③ 責任と権限を明確にした業務手順書を作成することにより、担当職員不在でも十分な住民サービスができる
 - ④ 半年に一度、専門の審査機関と内部監査員の審査を受ける
- という点で、国際規格に適合した住民サービスを維持改善できることは、職員にとっても、自治体にとっても大きな自信であり、更なる質の向上が図られていくものと思われる。